

- 熊本市電は、市民や来訪者が気軽に利用できる移動手段であり、また、都市圏の基幹公共交通軸を担う交通機関として重要な役割を担っている。
- 利用しやすい市電のダイヤ設定や市電の輸送力を向上させるなど、利用者の利便を増進するための事業を実施し、利便性の高い公共交通サービスの持続可能な提供を目指す。

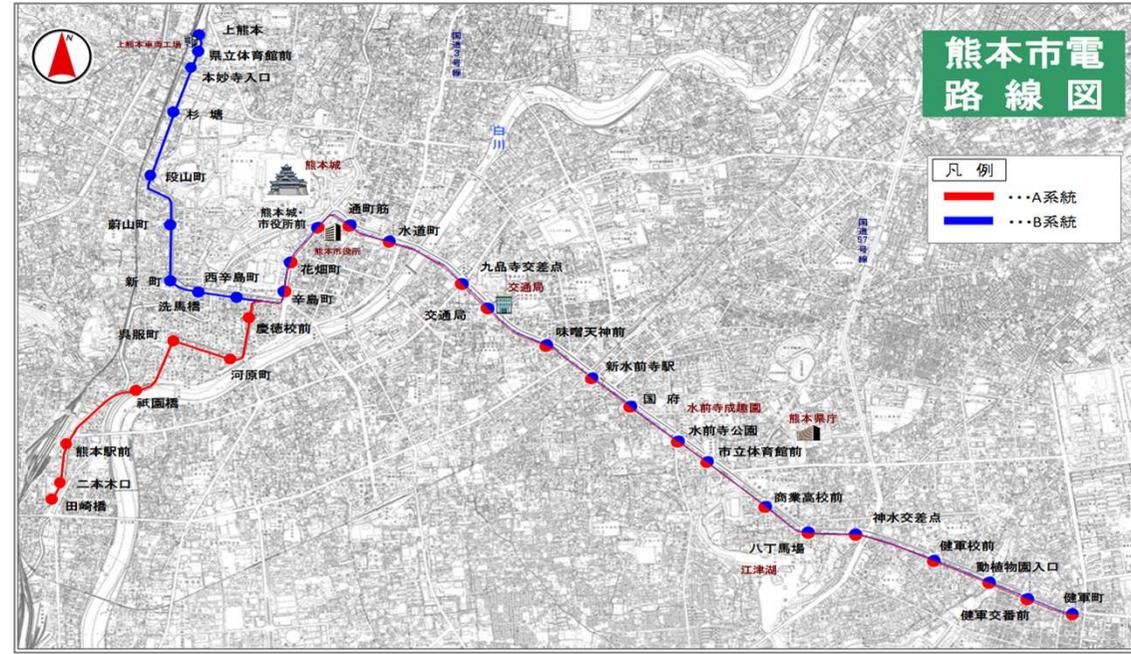
## 事業の内容

- ・市電全線の利用を円滑化するためのダイヤの設定  
土曜、日祝ダイヤの日中時間帯（10時～17時台）について、ダイヤのラウンド化※1及び等間隔化※2を実施。
- ・市電の輸送力向上のための多両編成車両導入  
現行定員の1.5倍程度の超低床形多両編成車両を導入。  
※1 毎時間同じ時刻に市電が到着するダイヤ  
※2 運行間隔が等間隔になるようなダイヤ

## 事業の効果

- ・市電の利便性向上  
ダイヤのラウンド化、等間隔化を行うことで、利用者にとって分かりやすいダイヤとなり、待ち時間の平準化も図られることで市電の利便性が向上する。
- ・市電の輸送力向上と乗降時の負担軽減  
多両編成車両を導入することで、輸送力が向上し、通勤時間帯などに車内が満員のため、乗車できない状況が改善される。  
また、バリアフリー新法に適合した超低床形車両とすることで、高齢者や障がい者の乗降時の負担軽減が図られる。

・作成自治体 熊本県熊本市及び嘉島町  
 ・事業実施区域 熊本市電沿線（右図の通り）  
 ・事業実施予定期間 R5年4月～R8年3月



【ダイヤのラウンド化、等間隔化】

| 土日祝：日中時間帯（10時～17時台） |          |  |
|---------------------|----------|--|
| 旧                   | 12～15便/時 | 最大待ち時間 6分  |
| 新                   | 15便/時    | 運行間隔：4分<br>運行時刻の例<br>00分、04分、08分<br>12分、16分、20分<br>24分、28分、32分<br>36分、40分、44分<br>48分、52分、56分 |

【導入車両のイメージ】



※R6に2台、R7に2台  
合計4台導入予定。